

〈解答〉

- ① 1 インド洋
 2 (1月) 10日午後3時
 3 〔例〕 ボゴタは標高が高いので、ほぼ同緯度のシンガポールと比べて1年を通してすずしい気候である。
 4 (1) キリスト教 (2) イ
 5 イ

配点 ① 1, 4(1)は各1点, 他は各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 地球の表面のおよそ7割が海洋である。海洋は太平洋, 大西洋, インド洋の三大洋と、これに付属した小さな海に分けられる。
 2 日本の標準時子午線は東経135度で、本初子午線の通るイギリスのロンドンとの経度差は135度である。経度15度につき1時間の時差が生じるので、東京とロンドンの時差は、 $135 \text{度} \div 15 \text{度} = 9 \text{時間}$ となる。東京が1月10日午前11時のとき、ロンドンでは1月10日午前2時である。飛行時間が13時間なので、1月10日午前2時の13時間後は1月10日午後3時となる。
 3 ボゴタはアンデス山脈の中腹に位置し、標高約2500mの高地にあることから、一年を通じて冷涼である。また、赤道に近い地域は、一年の気温の変化があまり見られないという特色がある。
 4(1) Aはカナダ, Bはブラジル, Cはドイツである。キリスト教, イスラム教, 仏教は、三大宗教ともよばれ、キリスト教はヨーロッパ, 南北アメリカ, オセアニアに、イスラム教は北アフリカ, 西アジア, 中央アジア, 東南アジアに、仏教は東南アジア, 東アジアに主に広がっている。三大宗教の教えは経典に書かれており、キリスト教では「聖書」、イスラム教では「コーラン」、仏教では「経」が経典である。
 (2) Aのカナダは、アメリカ合衆国との結びつきが強く、CのドイツはEU(ヨーロッパ連合)諸国との結びつきが強いことから、Iがアメリカ合衆国, IIがヨーロッパ州となる。残るIIIは中国である。
 5 ブラジルは流量の多い川に恵まれているので、水力発電が盛んである。ウは原子力発電の割合が高いフランス, アとエは火力発電の割合がともに高いが、原子力発電の割合が高い方のエがアメリカ合衆国, アが中国である。